

教育の内容及びその特徴

【子どもの自由を尊重し、子どもの『心の平和』と『自分づくり』を援助する】

カトリックの精神とモンテッソーリ教育法による教育を柱とする。

1. 人々のために祈る子どもに育てる教育

1日の始まりは、すべての人の幸せを願って、主の祈りをする。

1日の終わりは、すべてに感謝して祈る。

いろいろな出来事の中に、神の計らいがあることを受け止めることができるよう導く。

いつも共にいてくださるイエス・キリストとマリアに祈るよう導く。

2. 子どもを主体とした教育

子どもの自由、子どもの心の平和、自分づくりを支援する。

自分何の好きなお仕事を自分で選ぶ活動を中心とした教育環境を整える。

3. 心身の調和ある発達へ導く

子どもは環境と深いかかわりの中で、いのちの躍動と充実感や達成感のある喜びを体験し、心身の調和ある発達、人格への形成へと導かれるよう援助する。

4. 豊かな社会とコミュニケーション能力

縦割りクラスによる兄弟的關係の中で、成長を刺激し合い、学び合います。お互いを尊重し合って豊かな社会性とコミュニケーション能力を育てる。

5. 保護者との連携

神から授けられた子どもを真の幸せへ導く使命を担っている保護者を励まし、力づけその責任が果たされるように支援する。

6. 季節感あふれるさまざまな行事

種々の季節の行事を通して、子どもたちの頑張りやみずみずしい感性が発揮されるよう支援する。

7. 楽しい活動を取り入れた英語教育

多文化の理解や相互理解のための多文化共生に必要な力の育成、人種が違ってみんなが違って当たり前だという認識のもと、違いを認めながら、他者を尊重し合えるようになるために、互いの良いところを支援に、助け合えるようになるための基礎を養う。

8. いのちを守る安全教育

自分のいのちを守る意識を徹底させるために、さまざまな緊急時を想定し訓練を実施する。